



エコアクション21
認証・登録番号 0001054

環境活動レポート

2009年度 中間報告書



未来が変わる。日本が変える。
チャレンジ
25

株式会社 中遠電気

〒436-0017 静岡県掛川市杉谷1-13-4
TEL : 0537-24-3410
FAX : 0537-24-6328

目 次

	頁
1 会社概要	1
2 企業理念・環境方針	2
3 EA21実施体制図	3
4 過去3年間における排出量実績	4,5
5 環境目標	4
6 環境目的・目標推進計画書	6
7 環境目標の達成状況・評価	7
8 その他の取組み	8,9
9 代表者による全体の評価と見直し	10
10 環境関連法規の遵守	11

会社概要

事業者名	株式会社 中遠電気 代表取締役社長 中村 共孝
設立	昭和52年 4月
資本金	2,000万円
所在地	静岡県掛川市杉谷1-13-4
事業の規模	従業員 14人 床面積 475,11m ²
事業内容	電気設備工事 空調設備工事 冷媒回収事業 風力発電機販売代理店 食品リサイクル関連機器販売店
建設業許可	電気工事業 静岡県知事許可 般一22 第9141号 許可年月日 平成22年7月30日 (更新) 有効期限 平成27年7月29日
主な保有資格	1級電気工事施工管理技士 4名 2級電気工事施工管理技士 1名 第1種電気工事士 5名 第2種電気工事士 6名

エコアクション21登録・認証範囲

電気工事

(中部電力工事委託店・工場、ホテル、店舗、アパート、住宅等の電灯動力設備工事・設計施工・冷媒回収事業所・小型風力発電システム代理店)

環境保全関係の担当者連絡先

担当者 菅沼 遼
連絡先 電話0537-24-3410 FAX 0537-24-6328
E-mail: suganuma@chuen-denki.com

企業理念

- 1 当社は、主に建設に伴う電気設備工事を通し、地球環境の保全と改善に積極的に取り組み、地域社会の発展に貢献する。
- 2 社会の信用とお客様の信頼を基に会社の発展を目指す。
- 3 お客様に、環境にやさしい技術と商品を提供し、高品質・低コストを目指す。
- 4 私達は、社会の一員であることを常に認識し、社会奉仕の使命を果たします。

環境方針

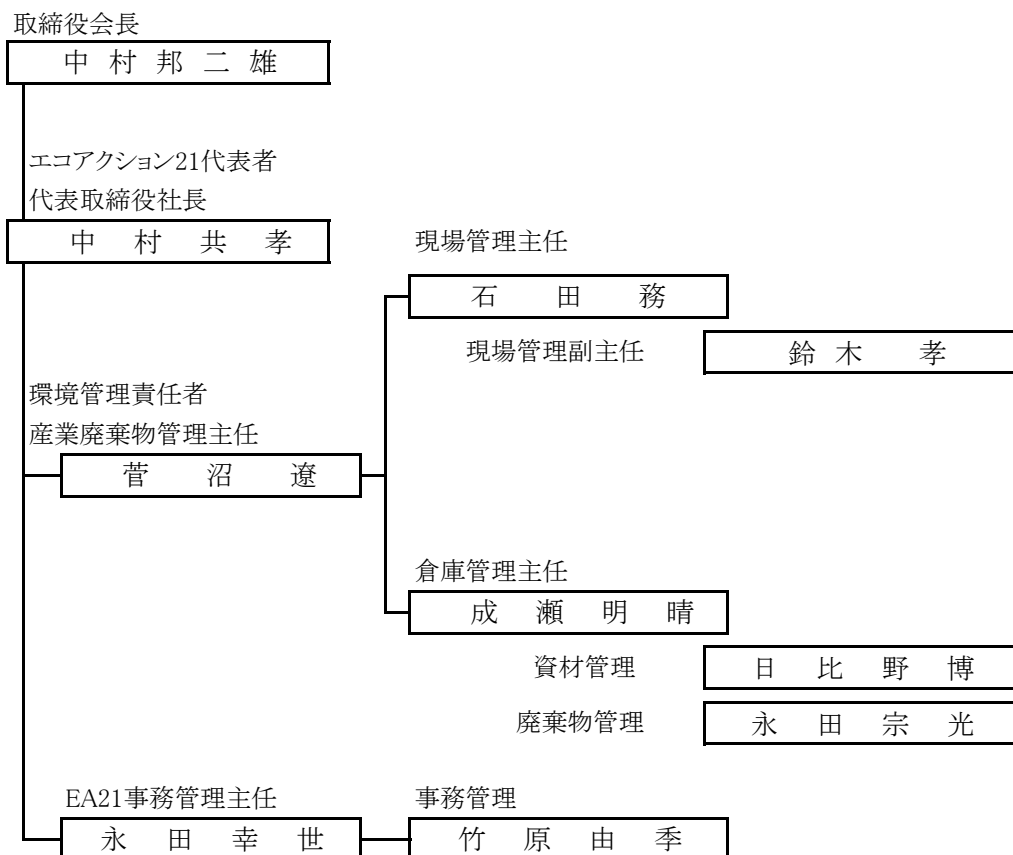
- 1 環境保全活動を推進する為に、エコアクション21に積極的に参加し運用と維持を確実にする。
- 2 事業活動による環境への影響を配慮し、技術・経済的に可能な範囲で目標を定め環境保全活動の継続的な改善に努める。
- 3 環境保全に関する法規等を遵守し、技術の変化、社会の変化に的確に対応します。
- 4 事業活動において環境負荷の低減と環境改善を図る為に、次の事項について重点的に取り組む。
 - (1) 設備工事に伴う廃棄物の発生抑制と、リサイクルの促進
 - (2) 地球資源保護のため、常に業務用車両の効率的な利用の推進を図ると共に、事務所の消費電力の削減と紙資源の節約、節水に取り組み、省エネルギーと排ガスの減少による二酸化炭素の削減、化学物質の管理を適正に管理する。
 - (3) 設備工事を通し、フロンガスの回収業務の拡大と、風力発電の導入と普及推進、省エネルギー/エコマーク商品(グリーン購入法)の採用促進
- 5 環境方針の周知徹底、環境情報の提供で、社員全員の環境意識の向上を図る。

設定 平成22年8月25日

改訂 平成22年7月15日

代表取締役 中村 共孝

エコアクション21実施体制



役割分担表

代表者	環境方針を策定し、環境目標及び環境行動計画を宣言する 環境目標及び環境行動計画の実施に必要な資源(人的・物的・財的)の用意 環境管理責任者の任命 全体の取組状況を評価し、全般的な見直しを実施し必要な指示を行う 環境活動レポートの承認 環境経営に関する統括責任
環境管理責任者	環境経営システムの構築・運用を行う。 環境活動レポートの作成 代表者への取組状況の報告
EA21事務管理主任	環境への負荷の集計・自己チェックシートの作成 社内使用品の購入
従業員	環境方針・企業理念を理解し、積極的に実行する。

環境目標と実績（見込み）

当社における二酸化炭素排出量、廃棄物最終廃棄量、排水量の過去3年間にわたる実績は以下の通りである。

年度		2007年	2008年	2009年
二酸化炭素 排出量	総量 (kg-CO ₂ /年)	30087	28321	30793
	売上高あたり (kg-CO ₂ /万円)	12043	17435	25660
	2008年度迄の目標値 (kg-CO ₂ /万円)	13426	12043	
	2009年度目標値 (総量)			28321
廃棄物 最終廃棄量	総量 (kg/年)	3640	3770	2210
	売上高あたり (kg/万円)	1452	2320	1841
	2008年度迄の目標値 (kg/万円)	1492	1457	
	2009年度目標値 (総量)			3770
総排水量 (水道料)	総量 (m ³ /年)	152	142	139
	売上高あたり (m ³ /百万円)	60	87	115
	2008年度迄の目標値 (m ³ /百万円)	62	60	
	2009年度目標値 (総量)			142
売上高 (百万円)		249	162	120

今年度以降の目標

二酸化炭素排出量、廃棄物最終廃棄量、排水量、それぞれの来年度以降の目標を下記のように設定する。

2009年度より2012年度迄の目標値

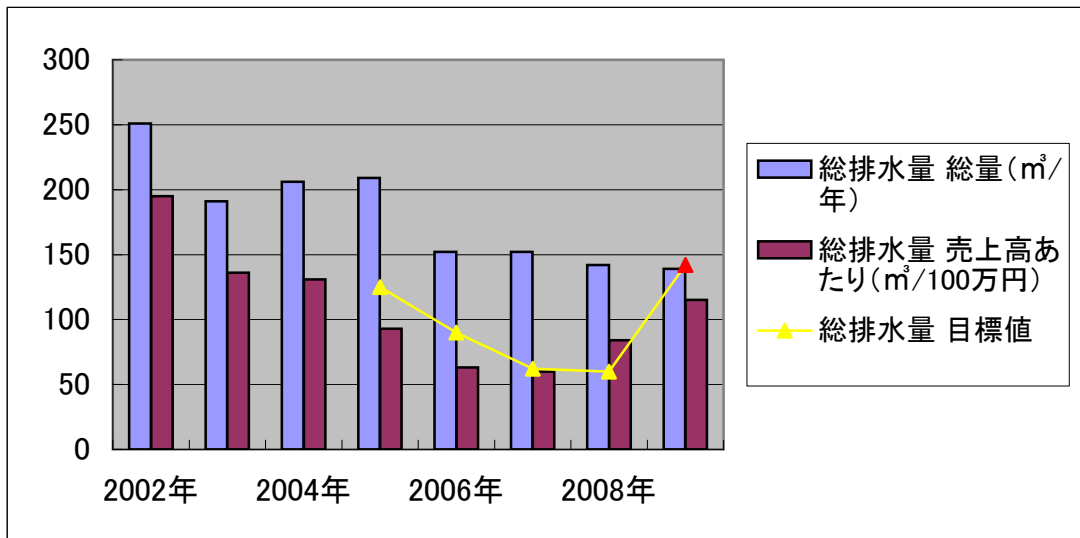
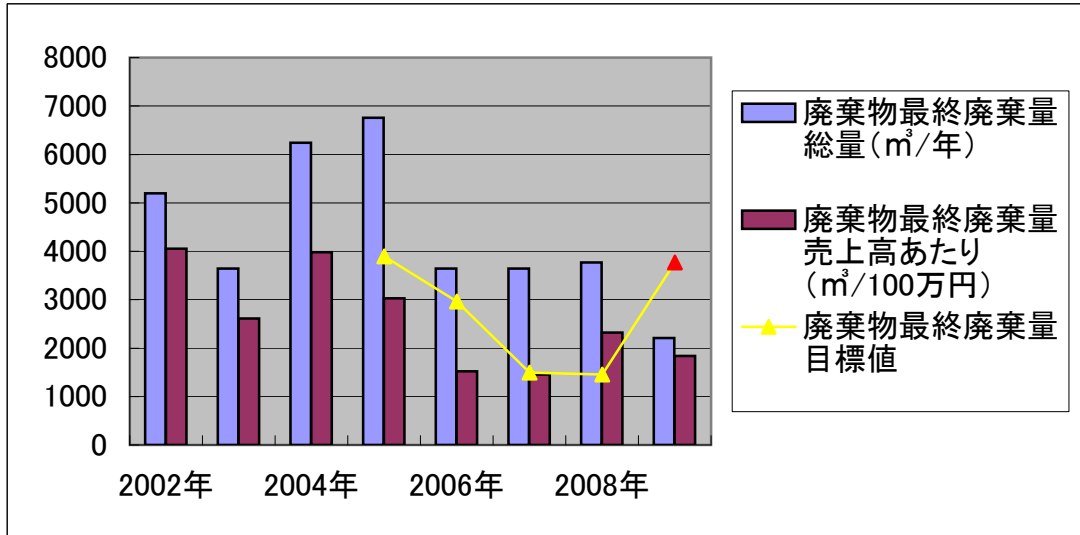
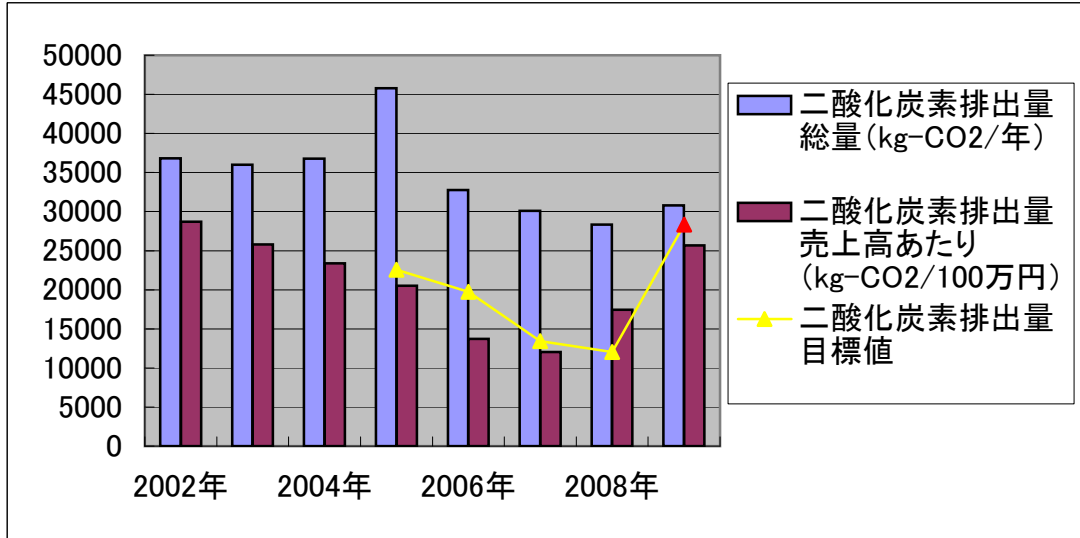
年度		2009年	2010年	2011年	2012年
二酸化炭素 排出量	総排出量 (kg-CO ₂ /年)	30792	2009年度目標値を据置		
	2009年を基準とした目標値		28321	28321	28321
廃棄物 最終廃棄量	総廃棄量 (kg/年)	2210	2009年度目標値を据置		
	2009年を基準とした目標値		3770	3770	3770
総排水量 (水道料)	総排水量 (m ³ /年)	139	2009年度目標値を据置		
	2009年を基準とした目標値		142	142	142

来年度以降の目標値は昨年度実績から据置くこととする。

※ 尚、中間報告書作成にあたり、決算まで期日がありデータが取り揃っていない為本報告書で使用しているデータは下記の通りです。

2007年度 2007年10月～2008年9月末時
 2008年度 2008年7月～2009年6月末時
 2009年度 2009年7月～2010年6月末時

二酸化炭素排出量・廃棄物最終廃棄量・総排水量の推移
2002年度～2009年度



※2009年度から目標値を総量に変更しました。

2009年度(2009年10月～2010年9月末) 環境目的・目標推進計画書(実績表)

株式会社 中遠電気
 策定：2009-7-10
 見直し：2010-7-30

目的	目標	2010年度目標 目安数値	2010年度 実施項目	主担当	2009年	2009年	2009年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年			
					10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
二酸化炭素 排出量 削減	2008年度比 CO2排出量 総量現状維持 28321 kg-CO2/年	28321 kg-CO2/年	新エネルギー事業	菅沼			エコプロダクツ 2009		ENEX 2010			地球温暖化 防止展	新エネルギー世 界展示会				メッセナゴヤ 2010			
			フロンガス回収 業務拡大	社長	フロン回収業務 の拡大						年間回収の集計									
			事務所内の節電	永田								不要照明の消灯の継続(年間)、空調機28℃設定							オゾン層保護対 策推進月間	
			車両燃料の節約	石田							アイドリングストップ活動の継続実施・走行記録の管理									
購入量			電気購入量 2008年度	永田	889kwh	1020kwh	1180kwh	1386kwh	1239kwh	1052kwh	788kwh	692kwh	907kwh	1166kwh	982kwh	1045kwh				
			電気購入量 2009年度		1126kwh	1254kwh	1507kwh	1510kwh	1343kwh	1385kwh	1151kwh	796kwh	1081kwh							
			ガソリン購入量 2008年度		271ℓ	612ℓ	568ℓ	537ℓ	716ℓ	631ℓ	742ℓ	545ℓ	621ℓ	677ℓ	743ℓ	945ℓ				
			ガソリン購入量 2009年度		436ℓ	653ℓ	685ℓ	701ℓ	697ℓ	802ℓ	687ℓ	649ℓ	603ℓ							
			軽油購入量 2008年度		112ℓ	225ℓ	357ℓ	158ℓ	215ℓ	361ℓ	180ℓ	58ℓ	123ℓ	285ℓ	249ℓ	274ℓ				
			軽油購入量 2009年度		54ℓ	191ℓ	159ℓ	91ℓ	233ℓ	56ℓ	218ℓ	52ℓ	146ℓ							
廃棄物 廃棄量 削減	2008年度比 廃棄物廃棄量 総量現状維持 3770 m3/年	3770 m3/年	廃棄物分別の徹底	菅沼 石田	排出物の分別化を徹底しリサイクルの推進(電線、鉄くず、空缶、ダンボール、新聞、雑誌、ガラス、ドラム、コンクリガラ、塩ビ)															
			廃棄量の実績	菅沼																
排水量 削減	2008年度比 排水量 総量現状維持 137m3/年	137m3/年	節水の啓蒙	菅沼	節水についての啓蒙活動															
			排水(水道)量の 2007年度実績	菅沼		23m3		23m3		24m3		24m3		26m3		22m3				
グリーン製品 の購入率の 向上			再生紙やグリーンマーク 商品購入と使用	永田	環境配慮商品(グリーンマーク商品)や再生材料を使用した紙類の購入推進															
			コピー用紙の削減	永田	両面コピーの推進と社内文書印刷用紙の裏紙コピーの実践と推進															
			コピー用紙購入量	永田	裏紙利用推進により購入量削減															
環境教育の 推進			社内教育の実施と 啓蒙活動	菅沼	環境掲示板による環境情報の提供と啓蒙活動										エコアクション21 役職者教育					
			環境保全関連の 研修会への派遣	菅沼	環境保全に関する社外における研修会やセミナーへの積極的派遣															
			環境活動 ボランティアへの参加		ボランティアへの 参加		ボランティア への参加		ボランティア への参加											
社員への環 境関係情報 の提供			エコアクション21 関 係	菅沼											書類審査 現地審査					
			その他の環境情報 法令改定を含む	菅沼	環境掲示板による環境情報の随時提供										中間見込み評価実施					

← 実行済 → 未実施

承認者	確認者	作成者
中村 共孝	菅沼 遼	菅沼 遼

環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況と評価結果（見込み）

2009年度の達成状況

項目	目標	実績	達成状況
二酸化炭素 排出量	2008年度実績に対し現状維持 目標値 28321 kg - co2/年	30793 kg - co2/年 前年比 8%増	×
廃棄物 最終廃棄量	2008年度実績に対し現状維持 目標値 3770 kg /年	2210 kg/年 前年比 42%減	◎
総排水量 (水道使用 量)	2008年度実績に対し現状維持 目標値 142 m ³ /年	139 m ³ /年 前年比 3%減	○

項目	実績	評価	来年度目標
電灯	20%増	前年度より増加しておりますが、事務所を拡大したことで照明やルームエアコンの使用が増えてしまったことが原因と考えられます。一部消灯など無駄の削減はしっかりと行っております。	照明の点灯調整や使用しない機器の電源を切るなど、細かな節電を心掛ける。
動力	ほぼ同数値	昨年とほぼ同数値となりました。継続してエアコンの温度設定を徹底している成果である。	引き続きエアコンの温度設定を厳守する。 冷房28℃暖房20℃設定
ガソリン	8%増	ガソリン車：8台 前年比で増加しているが軽油使用量は減少しており、現場への使用車種による誤差の範囲内である。	工事の場所や工期により影響されやすい項目だが、効率よく作業することで購入量を軽減する。
軽油	18%減	軽油車：3台 年々減少傾向にあるが、ガソリン使用量は増えているため総量では昨年とほぼ同程度の購入量と考える。	車両の買い替え時には環境に配慮しガソリン車への移行を進める。
紙類使用量	購入量12%減 使用量12%減	裏紙専用プリンターを設け使用者の利便性を上げたことが、裏紙使用の徹底に繋がっている。	両面印刷、社内文書の裏紙使用を徹底していく。
事務用品のグリーン購入率	—	グリーン用品を積極的に購入しております。	グリーン用品を積極的に購入する。 購入リストの作成。
社員への情報の提供	—	環境掲示板やミーティングを通して情報の発信を行っている。	環境保全に関する情報を社員に提示する。
環境保全関連の研修会などへの参加	—	事業と関係のある様々な環境展やセミナーへの参加している。	引き続き事業と関係する環境教育への積極的派遣を行っていく。

その他の取組み



- 風力発電と太陽光発電を会社敷地内に設置しております。発電した電気は会社周辺の歩道を照らす照明灯に使用し、地域の安全、安心に微力ながら貢献しております。



- 屋根は遮熱塗料で塗装し、窓には壁面緑化を行っております。



- 倉庫内にセンサー付き照明器具を取付けております。
- 消灯確認やアイドリングストップ等の注意を促すため様々な箇所に表示をしております。
- 使用していない照明は一部消灯を徹底しております。



- 裏紙専用のプリンタを設け、より積極的に紙類の節減に努めております。



- ・環境情報を社員に伝達するための環境掲示板を設けております。
- ・様々なミーティングを行い、環境及び安全に対し社員教育を行っております。



- ・新エネルギー事業では展示会や様々な場所への設置をとおして、地球環境の重要性を訴えております。

自治体等が開催する環境活動、ボランティアへの参加

H21	6/24～26	第4回新エネルギー世界展示会への参加（幕張メッセ開催）
H21	8/26～28	ENE-WAY 2009に出展（ポートメッセ名古屋開催）
H21	10/27～30	メッセナゴヤ2010への出展（ポートメッセ名古屋開催）
H21	11/20	掛川市クリーン作戦への参加（掛川商工会）
H21	12/10～12	エコプロダクツ2009に参加（東京ビックサイト）
H22	2/10～12	環境展ENEX2010への参加（東京ビックサイト）
H22	3月	掛川法人会クリーン作戦への参加（掛川法人会掛川支部）
H22	5/25～28	地球温暖化防止展に参加（東京ビックサイト NEW環境展同時開催）
H22	5/27	市内福祉施設等「修繕奉仕活動」への参加（掛川商工会）
H22	6/30～7/2	第5回新エネルギー世界展示会への参加（パシフィコ横浜開催）

今後の予定

H22	10/27～30	メッセナゴヤ2010への出展（ポートメッセ名古屋開催）
-----	----------	-----------------------------

代表者による全体の評価と見直し

評価事項

- ・ 二酸化炭素、廃棄物、排水排出量の目標値を総量に変更後、初の評価となりますが廃棄物、排水量では目標値を達成したものの、二酸化炭素排出量は8%増加してしまいました。しかし下記に記載するが明確な理由があるため問題はないと考える。また従業員の取り組みへの意識も年々高まっていることが見受けられる。
- ・ 二酸化炭素排出量の増加の要因は購入電力(Kwh)である。電灯が前年比より20%増加しているが、年度初めの10月から自動販売機を設置したことが要因であり、通常業務内の購入電力は昨年と同様に節電できていると考える。
- ・ 廃棄物の最終処分量は前年比42%削減と大きな成果が確認出来たが、処分量は工事現場の影響を大きく受けるため今後業績の改善とともに増加が予想されるので注意して経過を見る必要がある。
- ・ 前年比、ガソリン8%増、軽油18%減となり、合計では2%増となっている。これは業態上の誤差の範囲内である。昨年よりも車両毎の走行記録、ガソリン購入量を詳細に集計するようになったことで、車両毎の管理が徹底された。
- ・ コピー用紙使用量は昨年に続き、大幅な削減が確認出来た。裏紙専用プリンターを設けたことが社員の意識向上に繋がった。
- ・ 新エネルギー事業ではJR駅前や学校等への設置があり環境問題の啓発に貢献している。

指示事項

- ・ 現行の取り組みを継続すると共に、全社員からの提案、創意工夫により改善に取り組む。
- ・ 節電、節水、ゴミの分別等、現行の取り組みを維持し更なる向上を目指す。
- ・ 工事件数が増えれば廃棄物やガソリン使用量等が増えることが予想される中で、変動には注意深く且つ迅速に対応していく。
- ・ 自動販売機設置による購入電気量の増加に対し、取り組みを検討する。
- ・ 家庭用生ゴミ処理機を使用し生ゴミの軽減を図る。
- ・ 倉庫内の整理整頓に努める。
- ・ 太陽光・風力発電の設置をとおり、自然エネルギーの更なる発展に貢献する。

来年度の環境方針の見直しはありません。

平成22年8月2日

代表取締役 **中村 共孝**

環境関連法規等の遵守

関連法規	遵守事項	遵守状況
フロン類の回収及び破壊に関する法律	・ 特定製品に使用されているフロン類が適正に回収されるように必要な措置を講じること（回収月、保管の記録）	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・ 一般廃棄物は市の回収基準による。 ・ 収集運搬処分業者及びリサイクル業者と契約 ・ マニフェストの発行及び保管（産廃 17 枚、工事 14 枚） ・ 関連文書の保管	○ ○ ○ ○
浄化槽法	・ 年 4 回の点検（3，6，9，12月）	○

環境関連法規への違反はありません。
また遵守事項における当社での評価でも問題はありませんでした。
なお、関係当局及び近隣より違反、苦情等の指摘もありませんでした。

その他事業に関わる適用法規

- * 電気事業法
- * 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律
- * 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- * 家電リサイクル法
- * アスベスト廃棄物の処理について
- * 建設工事等から生ずる廃棄物の適正処置について

平成 21 年 7 月 1 日 ～ 平成 22 年 6 月 30 日

2009年度 環境活動レポート

中間報告書

発刊 平成 22 年 8 月 2 日

承認者 中村 共孝

作成者 菅沼 遼

確認者 菅沼 遼